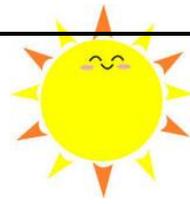


# 愛

## あい

1 学年便り 第7号

令和5年 6月 2日(金) 発行



### ースタートプログラム<海編>を終えてー

地引網体験や海岸清掃などの活動を終えて、生徒たちはそれぞれ多くのことを学んだようでした。また、スタートプログラムは山編、海編とも実行委員の皆さんが中心となって企画・司会・進行を行いました。実行委員の生徒たちは、人の前に立って物事を行うことの難しさを感じるとともに、一年生の皆とともに協力して活動を共有したことで喜びや達成感を感じたようでした。一年生皆がこの経験をもとにクラスや学年を『愛』に満ち溢れたすばらしい学年になるように成長して行ってほしいと思います。

下記にお礼状やふりかえりシートの生徒の感想を掲載しています。生徒たちがこの体験を通して感じたことや考えたことなどをご覧ください。

みんなの絆が発揮できてうれしいです。みんながびしょ濡れになりながら網を引く姿を見て、僕も引きました。皆が頑張った成果が表れてうれしいです。

私は特に漁協さんが問題といていた「魚を食べる人が少ない。」という問題を今日知ったので魚をいっぱい食べたいです。魚を食べるときは今日のことを思い出してみんな(家族など)に命の大切さのことについて今日学んだことを話してみたいです。

地引網体験をして、思ったより大変だということが分かった。手と腕は痛いし濡れるしで身体中が疲れた。こんな大変な作業をして漁師さんは僕達に魚を届けてくれているのだと思い知った。魚を食べる時いつも海と漁師さんに感謝の想いをもって味わいたい。

地引網体験をしてみて、私は「豊かさ」とはどんなものかが分かりました。「豊かさ」とはとても大切だけど、得るのは大変なものだと思います。

漁をされる方々は後継者や食べる人、魚の減少などについての問題を抱えており、それは自分たちもできることがあると思うので日頃から考えたいです。

私は魚を網で釣った時に大きな魚たちが釣れてとてもびっくりしました。「こんな魚が室積の海にいるんだ！」と思いました。そんな魚たちのためにゆたかな海を守っていきたいです。



【漁協の方のお話を聞く】



【1年生皆の協力・絆】



【海のゆたかさを守ろう】



【大漁!!!】



【ハンマーヘッド!!】



みんなで持続  
可能な社会を  
つくっていこう!